

汎用型飼料収穫機を使ってみて



秋田県農林水産技術センター畜産試験場

汎用型飼料収穫機と各作物専用収穫機の比較

比較した機械

a コーンハーベスター

MC923: 1条刈り サイドマウント リバース仕様

b 細断型ロールベラー

MR1000: 牽引 梱包サイズ $\varnothing 100 \times 85$

c ホールクropp用稲専用収穫機

WB1020: 自走 5条刈り 細断型 梱包サイズ $\varnothing 100 \times 85$

d ロールベラー

CR1070: 牽引 梱包サイズ $\varnothing 100 \times 100$ カッティング機能付き

汎用型飼料収穫機と各作物専用収穫機の比較

(適応性 ○:適 △:可 ×:不可)

種類	走行方式	牧草	飼料用 とうもろこし	飼料用稲	価格(千円)	専有面積	備考
汎用型 飼料収穫機	自走	△ 48	○ 42	○ 29	19,929	19	
飼料用稲 専用収穫機	自走	×	×	○ 27	11,025	11	
ヘイベラー (ロール)	牽引	○	×	△	3,574	7	専用機合計金額 21,852
コーンハーベスター +細断型ロールベ ラー	牽引	×	○ 30	×	1,635 5,618	9 11	専用機合計面積 38

注1:作業能率:汎用型飼料収穫機は、生研センターのホームページ掲載資料より抜粋。その他は株式会社タカキタのカatalogより抜粋

注2:コーンハーベスターの作業能率は細断型ロールベラーの能力に制限されることから、細断型ロールベラーの能力を記載した。

汎用型飼料収穫機の農家実証結果(H21)

作物名	圃場	面積(a)	圃場の条件	収量 (t/10a)	所要時 間 (時間)	作業能 率 (a/h)	トラブ の 回数	トラブルの主な内容
飼料用 とうも ろこし	A	100	天候:晴れ 地盤:良好 倒伏:なし 地形:成形(一 部凹凸)	4.1	2.4	41.7	2	ネットの絡まり ハーベスターの詰まり
	B	150	天候:曇り 路盤:良好 倒伏:一部(雑 草多い) 地形:不成形	4.2	4.1	36.6	11	雑草の詰まり 倒伏したトウモロコシの引きずり ベールキッカーの突き刺し
	C	60	天候:曇り 路盤:良好 倒伏:なし 地形:成形	5.4	1.4	42.9	0	
WCS用稲	D	30	天候:前日から雨 路盤:泥濘 作物:一部倒伏 地形:成形	-	2.3	13.0	7	土壌の拾い上げでハーベスターが詰まり 負荷によりPTOクラッチが焼き付き
	E	30	天候:前日から雨 路盤:泥濘 作物:一部倒伏 地形:成形	1.9	1.0	31.6	1	

倒伏稲の収穫(リールヘッダー)



カッターバーの突き刺し(リールヘッダー)



雑草の絡まり(ロークロップアタッチ)



平成22年度実施内容

- 小麦
- 稲わら
- スーダングラス
- 飼料用とうもろこし
- スイートコーン圃場残渣

小麦の収穫(リールヘッダー)

収量(kg/m ²)	ロール1個当たり作業距離(m)	作業時間(分: 秒/個)	梱包ロス(kg/ 個)	ロール1個推定 重量(kg)	ロール1個実測 重量(kg)	草丈(cm)
0.8	136.2	05:03.8	3.3	214.7	280.6	74.7



稲わらの収穫

- 作業面積:30a
- 品種:秋田63号
- コンバイン:5条刈り
- 収穫時間:3時間15分
- 平均作業速度:0.22m/s

➤オーガでハーベスター入り口に供給できず、そのまま前方に排出

スーダングラス(リールヘッダー・ロックロップ)

- 品種:ヘイスーダン(雪印) ●作業速度:
- 収量:3.4t/10a リールヘッダー 0.09m/s
- 草丈:2.34m(1~2.9m) ロックロップ 1.0m/s



飼料用とうもろこしの収穫

- 作業面積: 2ha
- 作業時間: 4時間2分
- 平均作業速度: 0.78m/s



➤子実の落下が多い



ま と め

- リールヘッダー

- 小麦は、比較的円滑に作業を進めることができた
- 草丈の高いスーダングラスでは、作業効率が悪かった
 - 草丈の限界は未確認

- ロークロップ

- バラ蒔きしたソルガムでも株の引き抜きはなかった
- とうもろこしの子実落下が多かった

- ピックアップ

- 長わらをオーガからハーベスターのフィードロールに供給できない